

自己負担額積算表

氏名 _____ 借入期間 _____ 年

※授業料、その他費用は全借入期間の金額を記載してください。
減免額・給付額の決定後に記入してください。

【入学準備金】

① 入学金について

入学金（減免前）	減免額	自己負担額
円	円	(A) 円

② 入学金以外の入学にかかる費用実費について

※ 入学後にかかる費用は裏面の【修学資金】に記入してください。

(例：入学式用スーツ、履物、かばんなど)

1	円
2	円
3	円
4	円
5	円
合 計 (B)	円

※ 通学用自転車は積算不可

入学準備金負担額合計 (A+B)	(C) 円
------------------	-------



★入学準備金貸付申請可能額（万円単位）

入学準備金（上限200,000円）	円
-------------------	---

※Cが20万円を下回る場合はCが上限額

裏面へ

【修学資金】

① 授業料について

授業料（減免前）	減免額	自己負担額
円	円	(D) 円

減免額の内訳 ※申込時現在（決定済）の期間以外は見込で可

内 訳： _____ 円（ _____ 年 _____ 月～ _____ 年 _____ 月分）第 _____ 区分
 _____ 円（ _____ 年 _____ 月～ _____ 年 _____ 月分）第 _____ 区分
 _____ 円（ _____ 年 _____ 月～ _____ 年 _____ 月分）第 _____ 区分
 _____ 円（ _____ 年 _____ 月～ _____ 年 _____ 月分）第 _____ 区分

② 授業料以外の費用（入学にかかるものは除く）について

※生活費等は対象となりません。

（例：交通費、教材費、施設設備費、実習費用、学用品、参考図書など）

1	円
2	円
3	円
4	円
5	円
6	円
7	円
8	円
9	円
10	円
合 計 (E)	円

修学資金負担額合計 (D+E)	(F) 円
-----------------	-------

★減免区分が変更されても貸付申請額を下回らないように積算してください。



★修学資金貸付申請可能額（万円単位）

修学資金（上限1,200,000円）	円
--------------------	---

※Fが120万円を下回る場合はFが上限額

※ 以下の書類を添付してください。

- ☐ 養成施設からの減免通知書等の写し
- ☐ 交通費の積算根拠となるweb画面等の写し
- ☐ 積算根拠となる書類等
- ☐ 日本学生支援機構奨学生証の写し（給付型奨学金受給者の方）

記入例

自己負担額積算表

氏名 川崎 花子 借入期間 2 年

※授業料、その他費用は全借入期間の金額を記載してください。

減免額・給付額の決定後に記入してください。

【入学準備金】

- ・学校から出されている通知等を参考に記入
- ・通知等のコピーを添付

① 入学金について

入学金（減免前）	減免額	自己負担額
300,000 円	166,700 円	(A) 133,300 円

② 入学金以外の入学にかかる費用実費について

※ 入学後にかかる費用は裏面の【修学資金】に記入してください。

(例：入学式用スーツ、履物、かばんなど)

1	スーツ代	30,000 円
2	かばん代	6,000 円
3	くつ代	4,000 円
4		円
5		円
合 計 (B)		40,000 円

※ 通学用自転車は積算不可

入学準備金負担額合計 (A+B)	(C) 173,300 円
------------------	---------------



貸付申請額上限は200,000円となります。

★入学準備金貸付申請可能額（万円単位）

入学準備金（上限200,000円）	170,000 円
-------------------	-----------

※Cが20万円を下回る場合はCが上限額

裏面へ

【修学資金】

① 授業料について

授業料（減免前）	減免額	自己負担額
1,400,000 円	826,800 円	(D) 573,200 円

- ・ 学校から出されている通知等を参考に記入
- ・ 通知等のコピーを添付

減免額の内訳 ※申込時現在（決定済）の期

内 訳： 413,400 円（● 年 4 月～▲ 年 3 月分）第Ⅱ 区分
 413,400 円（▲ 年 4 月～■ 年 3 月分）第Ⅱ 区分
 円（ 年 月～ 年 月分）第 区分
 円（ 年 月～ 年 月分）第 区分

② 授業料以外の費用（入学にかかるものは除く）について

※生活費等は対象となりません。

（例：交通費、教材費、施設設備費、実習費用、学用品、参考図書など）

1 交通費	119,720 円
2 施設設備費	680,000 円
3 教材費	120,000 円
4 参考図書	20,000 円
5 実習費用	120,000 円
6 学用品	30,000 円
7 学友会費	10,000 円
8 ノートパソコン	100,000 円
9	円
10	円
合 計 (E)	1,199,720 円

- ・ 借入期間中の全額で記入
- ・ 原則、交通費は6ヶ月学割定期で計算
- ・ web画面等根拠となる書類を添付
- ・ 不確定な経費については概算で記入

修学資金負担額合計 (D+E)	(F) 1,772,920 円
-----------------	-----------------

★減免区分が変更されても貸付申請額を下回らないように積算してください。



★修学資金貸付申請可能額（万円単位）

修学資金（上限1,200,000円）	1,200,000 円
--------------------	-------------

修学資金自己負担額総額を超えない範囲（上限1,200,000円）が修学資金の貸付申請額です。

※Fが120万円を下回る場合はFが上限額

※ 以下の書類を添付してください。

- ☐ 養成施設からの減免通知書等の写し
- ☐ 交通費の積算根拠となるweb画面等の写し
- ☐ 積算根拠となる書類等
- ☐ 日本学生支援機構奨学生証の写し（給付型奨学金受給者の方）

チェックにご利用ください